

新基地建設反対名護共同センターニュース

安倍首相と一体で悪政推進の3候補 新基地押し付けも共同責任 その筆頭は菅氏

設計変更の縦覧 全国から「意見書」の集中を！

安倍晋三首相の辞任表明を受けて行われる自民党総裁選で、岸田文雄政調会長、石破茂元幹事長、菅義偉官房長官が立候補を表明しました。

安倍首相辞任の直接の理由は病気によるものですが、安倍・自公政権全体が進めてきた政治の深刻な行き詰まりの結果です。3人の自民党総裁候補には、7年8カ月の安倍政治を進め支えてきた共同責任があります。



共同責任の筆頭は菅義偉官房長官です。安倍政権の7年8カ月の全期間を通じて官房長官を務めてきました。



岸田氏は外相を務めた後に、17年8月からは自民党政調会長として安倍政権の悪政を支えてきました。



一方、石破氏はたびたび安倍首相の政治手法に批判的な言動を行ってきました。しかし石破氏の最大の「実績」は沖縄への米軍新基地の押し付けです。

石破氏は幹事長時代の2013年、自民党の沖縄選出国会議員5人を党本部に呼びつけ、同議員らが掲げた米軍普天間基地の「県外移設」公約を投げ捨てさせ、名護市辺野古への米軍新基地建設の容認へと転換させ、県民から「平成の琉球処分だ」と批判されました。

菅氏の「新基地合意得た」は事実誤認

使用期限など白紙にし閣議決定

菅長官が2日の出馬会見で新基地建設について「地元市長、県知事も合意した中で辺野古建設は決まった」と答えました。しかし、沖縄地元両紙から「当時の稲嶺恵一知事と岸本建男名護市長から15年の使用期限などの同意を得る条件だったことを白紙にして閣議決定をした経過があり、発言は正確性が問われる」と事実誤認を指摘されています。

縦覧開始は緊急事態宣言解除後

沖縄県による防衛局からの「設計変更申請書」の告示・縦覧は、県の9月5日までの緊急事態宣言解除後の来週にも開始される予定です。縦覧開始はマスコミも報道しますので県内と全国からたくさんの方の「意見書」を沖縄県に提出し、デモ・知事を援護しましょう。詳しくは「オール沖縄会議」のホームページをご覧ください。

オール沖縄会議からのお知らせ

オール沖縄会議は、県内の感染拡大の現状を踏まえた緊急事態宣言延長に合わせて、抗議活動の休止を継続しています。抗議の現場から誰一人感染者を出さないための判断です。みなさんのご理解ご協力をお願いします。

なお、オール沖縄会議は、基地の内外での感染拡大を防ぐために、軍人、軍属や基地従業員の基地と市街地の出入りが止まるよう、沖縄県に対して、基地の閉鎖と建設工事の中止を日米両政府に求めるよう要請しました。防衛局に対しても同様の要請と警備員のカメラ装着を抗議しています。



3日朝9時頃のキャンプ・シュワブ工事用ゲート前様子。大型台風の襲来に備え幕を外し骨だけになっています。

今週の大浦湾は作業船が1隻もなくすっきり



旧盆と連続の台風直撃で 工事中止続く

旧盆に台風9号が沖縄を襲撃し、引き続き超大型の10号が6日、7日に直撃する可能性が高まっています。このため辺野古新基地工事は海上でも陸上でも中止状態が続いています。写真のように、いま大浦湾は作業船が1隻もなくすっきりした青い海が広がっています。このまま完全に工事を中止させたいものです。

8月末から工事は全面中止に。いま大浦湾には運搬船も台船も警戒船一隻もありません。